

令和2年 第7回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

令和2年7月30日 開会

令和2年7月30日 閉会

岩見沢市教育委員会

令和2年 第7回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

(令和2年7月30日)

○本委員会に付議した議件

- 1 議案第44号 岩見沢市教科用図書の採択について
そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	杉 野 幹 夫
委 員	菊 池 亜 希

教 育 部 長	井 筒 亨
社会教育・子育て支援担当次長	所 美穂子
学 校 教 育 課 長	戸 沼 貴 志
指 導 室 長	鳶 野 郁 夫
事務局学校教育課総務係長	石 川 貴 規
事務局学校教育課総務係	岩 端 浩 太

午前10時00分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から令和2年第7回教育委員会臨時会を開催いたします。
本日の署名委員につきましては、菊池委員さんをお願いいたします。

初めに、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○井筒教育部長 議案第44号 岩見沢市教科用図書の採択について。

令和3年度から使用する教科用図書の採択について、ご審議を願うものであります。

○三角教育長 それでは、日程番号1、議案第44号 岩見沢市教科用図書の採択について、審議いたします。説明をお願いいたします。

○寫野指導室長 それでは、ご説明をいたします。

岩見沢市における令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について、ご協議をいただきます。

中学校用教科用図書及び学校教育法附則第9条に規定する教科用図書につきましては、去る5月26日に第1回岩見沢市教科用図書調査委員会を開催し、岩見沢市において令和3年度から使用する教科用図書の調査について諮問いたしました。

調査委員会では、その後、約50日間にわたり調査研究を行ってまいりました。

7月17日、調査研究の結果について、お手元の資料の通り、調査委員長である日比生究緑中学校長より、三角教育長に答申されたところでございます。

なお、調査委員会における調査研究にあたりましては、北海道教育委員会作成の「令和3年度から使用する中学校用教科用図書採択参考資料」、発行者作成の「編修趣意書」及び「教科用図書見本」、また、「令和3年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料」を参考として、採択基準、調査研究の観点に基づいて調査研究を進めてまいりました。

これまでの経過及び調査研究内容につきましては、お手元の資料に示したとおりでございます。

それでは、この後、種目別にご協議をいただきますが、教育委員の皆様には事前に採択参考資料、編修趣意書、教科用図書見本等の資料の他、「展示会にて市民の皆様からいただいたご意見・ご感想」についても配付させていただき、十分にご検討をいただいていると存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、最初に国語科についてご説明いたします。

国語科は、4社の教科書について調査研究いたしました。

各教科書とも、国語を尊重するとともに、特質を理解して適切に使うこと、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力養うこと等、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを大切にしています。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されています。以上でござ

います。

○三角教育長 それでは、初めに、国語についてご意見をいただきます。よろしくお願ひします。

先ほど説明がありましたが、4社ということで、その中から特徴的なご意見等がありましたらお願いいたします。

○杉野委員 発行会社が4社ということなんですが、どの会社の教科書もそれぞれに工夫されていて、そして、特徴もあり、素晴らしい内容になっていると思います。

なかなか優劣はつけ難いのですが、その中でも、特に教育出版と光村図書ですが、特に、今、言われています、主体的・対話的で深い学びの授業が求められておりますが、それが実現できるように様々な工夫がなされています。

どちらかというと、特に現在使用されております光村図書なんですが、内容が授業展開の自由度が高く、それから生徒たちの思考の多様化が図られるような、そんな作りになっているのではないかと思います。

そのようなことで、今、岩見沢市で進めている、教えて考えさせる授業づくりに合っているのではないかなということと、現場の先生方の評価も非常に高いのではないかなと思われまので、光村図書がいいのかなと思います。

以上です。

○三角教育長 今、杉野委員のほうからご意見ありましたが、教出、それから光村という教科書名が出てきました。特に光村のほうの自由度、それから多様性のある思考ということでご意見いただきましたが、他の委員さん、いかがでしょうか。

○武蔵委員 私も、この4社の中では光村さん、また教育出版さんかなと思いますが、三省堂さんは非常にシンプルな感じで、題材としては見やすいんですが、深めるところで、少し今一つかなというのと。

東書さんは、本文の下地に色がついているのが結構あって、いろいろ配慮はされていると思うんですが、ないほうが良いと思います。

その中で、光村さん、教育出版さん、それぞれ特徴があるわけですが、まず、教えるという、レポートや報告書などの定型的なものについては、どちらも、まずは基本的なことを教えて取り組むという部分では問題ないかなと思うんですが、文芸作品のような部分については、まずは先入観を持たないで読み解くということが大事かと思うので、そういう部分では光村さんのほうが自由度が高いのかなと感じました。

○三角教育長 同様のご意見かなと思います。光村、教出というお話が出てきていますけれども。

教育出版で言うと、現代作家の方々の作品が多く取り上げられていますね。

他にございますか。

○秋山委員 光村さんは、どちらかというと、長文が少ないというわけじゃないんですが、他社に比べると、他社は、やはり長文がちょっと多過ぎるのかなと。そういう意味では、

時間内で進めていく中では、ある程度、まとまったような文体のほうが、子どもたちも学習しやすいのかなと。

それと、先ほど、武蔵委員も言っていたんですが、前回の選考で光村さんにさせてもらって。先生方も、前回、そのときもいろいろな意見もあったんですが、光村さんにしたときに、今、現場でも先生方の評判もいいという意味では、光村さんがいいのかなと。今、教育長も触れられたとおり、教育出版は現代作家の作品が多いとか、各社特徴はあるんですが、今回については、光村さんがいいのかなと思います。

○三角教育長 今、お三方のご意見を伺いましたが、教出と光村ということで絞られてくるのかなと考えるんですが、その2社ということで整理させていただいて、ご意見を伺ってよろしいですか。

私自身は、教出については、先ほど言いました、現代作家の作品を取り上げているというところが多いと思うんですが、また、光村さんのほうは、文学作品として取り上げられているところが多いかなと思います。

また、並行読書につなげる教材の扱いというところと言うと、今、使用されている光村の図書が学校現場でも考えさせる部分での有効な活用ということが、今、なされているのかなとは思っているところなんですけれども。

菊池委員さん、どうですか。

○菊池委員 光村さんのほうが、記入欄がとて多くて、使いやすいかなと思っています。教育出版さんはちょっと欄が小さかったりするので、ちょっと書くのに使いづらいのかなと思って、見ていました。

○三角教育長 これまでのご意見をちょっと整理させていただくと、教出、光村ということでご意見が集約されてくるのかなと思うんですが、その2社の比較においては、どちらかというとならぬ光村ということのほうがご意見としては多いのかなと考えていますが、いかがでしょうか。

○武蔵委員 両方とも全部隅から隅まで見たわけではないですが、たまたま同じ教材も取り上げているので、そこで比較すると、ルビの振り方だったり、平仮名と漢字の使い方はどっちが正解なのかわからないですが、そういった違いがあったり。その後の学習の指導内容でより具体的に聞き込むのが教育出版さんの教科書かなと。

先生の自由度というか、授業の組立ての自由度からいくと、そこまでしないほうがいいのかという感じがして、光村さんのほうが岩見沢市としては取扱いやすいのかなという気がしました。

○三角教育長 いかがでしょうか。考えさせるという視点での題材の扱いや課題、手引きの扱い方でいうと、私自身も光村さんのほうが扱いやすいのかなという見方ではいたんですが、いかがでしょうか。

○秋山委員 総体的な部分でいけば、光村さんでいいんじゃないかなと思います。

○三角教育長 それでは、これまでのご意見を総合させていただきまして、国語は光村図

書の教科書に決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、国語に関しましては、光村図書の教科書を採択することといたします。

次に、書写につきまして、ご協議をいただきます。

説明はありますか。

○寫野指導室長 書写は4社について、ご説明いたします。

各教科書とも、小学校での学習を踏まえ、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することを大切にしております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されています。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、書写につきまして、ご意見をいただきます。よろしくお願いたします。書写は4社になります。

○秋山委員 最近の書写は、本当に、どの会社をとっても、上手に筆の運び方、そのようところが丁寧に説明されており、なかなか難しい部分はあるんですけども。あとは、見開いたときの原寸大になるとか、そういうような見方で考えれば、光村さんかと思う。

また、国語と書写とのつながりという部分もあるので、そういうことも関連していいのかなと思います。書き方、教え方については、本当にどの教科書も、筆の運び方はもちろん、昔の私たちが使っていた教科書とは全然違い、どの教科書も評価できるのではないかなと思います。

○三角教育長 扱い方については、そんなに大差はないかなというところなんですけど、また、これが教科書として実技につながるというところがありますから、今、秋山委員さんがおっしゃられたように、見本というところかというと、私自身、取扱いが大きくて、しっかり見やすいというところで行くと、光村、東書なのかなと私は思っていたんですけど、皆さん、いかがですか。

○菊池委員 私は、教育出版さんが、硬筆のところでも真ん中に線が入っていたのは教出だけだったんですけど、そうすると苦手な子も書きやすいのかなと思いながら見ました。あとは、中心のところ三角がついていたりして、自分で線を必要な子は引くのかなという感じ。

○三角教育長 杉野委員さん、いかがですか。

○杉野委員 版の大きさからいくと、教育出版と東京書籍が大きいですかね。あと、光村図書と三省堂は小さめということだと思うんですが、それぞれにいいところがあるのではないかなと思います。特に東京書籍については、左利きの生徒に配慮した取扱いが入っていたり、光村図書は版が小さいんですが、半紙の原寸大の見本があったり、QRコードで見られたりという部分があったりして、扱いやすいのは、国語科との関連があって、光村図書なのかなと思います。

○三角教育長 委員さん方の見方もそれぞれいろいろあるので、なかなか選定しにくいところかなと思うんですが、今、国語との関わりというところがありました。武蔵委員、いかがですか。

○武蔵委員 私も、どれも素晴らしい出来栄だと思いますが、やはり、光村さんのぱっと開いたときの半紙の原寸大のような手本がすごく見やすいという印象を受けました。それは、もう一部分ですが。前回は、国語と、そこまで関連づけなくていいんじゃないかということではなかったんですが、実際に使っている先生方はどうかということも配慮すると、国語の教科書との連動というものを考えたほうが扱いやすいのかなと思います。ということで、光村さんを推薦したいと思います。

○三角教育長 教科の特性を考えて、大判見本、手本という扱い、あるいは国語の教科書の連動ということを考えて、光村ということがご意見として、お三方から出ているかなと思いますが、いかがでしょうか。なかなか、甲乙つけ難いところがありますが、これまでのご意見を伺った中では、光村さんということになるのかなと思っているんですが、いかがでしょう。

○菊池委員 毛筆を考えると、やはり光村さんのほうが多分書きやすい。子どもたちは、書道をやっていると大体小さくなってしまいうので。

○三角教育長 手本としてですね。

○菊池委員 手本の字も小さくなってしまいうので、原寸大があるほうがいいかなと感じます。

○三角教育長 それでは、書写の教科書につきましては、光村図書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 次に、社会につきまして、ご協議をいただきます。

説明ありますか。

○鳥野指導室長 それでは、社会科についてご説明いたします。

社会科は、地理が4社、歴史が7社、公民が6社、地図が2社の教科書について、調査研究をいたしました。

初めに、社会科地理4社について、ご協議をいただきたいと思います。

各教科書とも、地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり、解決したりする力の育成を図るとともに、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されています。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、社会につきましては分けて、社会科地理につきまして、ご審議をいただきます。ご意見お願いいたします。

○武蔵委員 私、社会科は不得手なんです。中学校の社会科で、どこまで考えさせるの

かというところですが、その中で地理ということになってくると、やはり身近なテーマがあったほうが生徒たちは取り組みやすいのかなということで、やはり、北海道の記述が多いものが使いやすいのかなという気がしております。具体的に言うと、教育出版さんが多いかなと思っています。

○三角教育長 私自身、社会科は資料や図表が非常にウエートを占めるところがあるということと、子どもたちが見やすい、あるいは読み取りやすいというところを視点で考えると、教出か東書かなと思ったんですよね。教出についてはすごく読みやすいというところと、課題とか、表現の学習の見通しが立ちやすいという取扱いが特徴的かなと思いましたし、あと文字が非常に読みやすいかなと見ていました。ただ、若干写真が小さいなというところはあるんですけども。

東書につきましては、写真と表、すごく豊富で見やすい配置になっているかなと思っています。それから、チェックトライというところで、やはり教出と同じように学習の見通しが立てやすい。どちらも考えさせるという視点を持たせた授業構想が組みやすいかなと思って見ていました。

ただ、若干、その2社で比べるとしたら教出のほうが授業としては取扱いしやすいかなと思ってはいたんですが、いかがでしょう。

杉野委員さん、いかがですか。

○杉野委員 なかなか難しいんですが、どの会社も本当に主体的で対話的で深い学びの授業を視점에、いろいろな工夫がされているかなと思うんですね。特に教育出版、それから東京書籍については、本当にいろいろな工夫が見られて、素晴らしいかなと思っています。

ただ、先ほど教育長がお話しされていましたが、資料の選択だとか、あと本文の中身だとかを見ると、やはり教育出版のほうが全体的にバランスも取れていて、子どもたちも扱いやすいと思います。

それから、先ほど武蔵委員からもお話がありました。教育出版は、北海道の身近に関わる記述が大変充実しているのではないかなと思います。地域に学ぶという視点も大切にされていて、より身近に感じて、学習に取り組めるのではないかなと思います。教育出版がいいのかなと思います。

○三角教育長 教育出版というご意見が出てきたように思いますが、秋山委員さん、何かありますか。

○秋山委員 総体的な部分では、教育出版さんが良いのかなと思います。ただ、他社さん、東京書籍さんなんかもやはり考え方とか教え方とか、全ての点で、やはり甲乙つけ難い部分があるのかなと。

ただ、そこで差をつけるとすれば、北海道に関わる記述や身近な題材を入れている部分が多いのかなという意味では、教育出版さんがいいのかなと思います。

○三角教育長 菊池委員さん、ありますか。

○菊池委員 私も教育出版のほうが北海道の記述が多くて、深くて、見やすかったのかな

と思うので、私も教育出版がいいかなと思いました。

○三角教育長 地理については、大方、教育出版というご意見が多いかなと思います。そのとおり、教育出版を採択してよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、地理につきましては、教育出版の教科書を採択することといたします。

次に、歴史について、ご協議をいただきます。

説明はありますか。

○寫野指導室長 それでは、社会科歴史については、7社についてご説明をいたします。

各教科書とも、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする力の育成を図るとともに、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができるような内容に工夫をされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されています。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、社会科の歴史につきまして、ご意見いただきます。よろしくお願ひします。

○秋山委員 先ほどの地図もそうなのですが、やはり、教育出版、東京書籍さんがバランス的にもいい部分があるのではないかなと思います。

細かい内容については、先ほどの読み解こうとか、確認させるとか、あとは、東京書籍さんで言えば、小集団での参加型学習を行うような「みんなでチャレンジコーナー」とかもあって、そういう点では良いのかなという感じがしました。

○三角教育長 地理同様、教出と東書というご意見が出てきましたが、いかがでしょうか。

私自身、地理同様、授業構想という視点でいくと、東書、教出の教科書が良いのではと思っていたんですが、いかがでしょう。

武蔵委員さん、どうですか。

○武蔵委員 やはり歴史の場合は、学校の授業としても押さえておかなきゃならない歴史的事実と、あとは、その中から生徒たちがどんどころに興味を持てるかという、発展するきっかけとなるようなヒントがどれだけ散りばめられているかという部分だと思いますので、そういう部分で、やはり取扱いやすいのは東書、教出といったところかなと思います。

読み物として面白いのは他にもあるんですが、学校の教科書として取り上げるということになると、この2社の中から選んでいただきたいと思います。

○三角教育長 7社ありますので、ここで、東書、教出というご意見をいただいていますので、その2社に絞らせていただいてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○菊池委員 教育出版のほうの写真や解説が多くて、見やすくいいのかなと。東書のほ

うは、イラストが多かったので、イラストと写真ではちょっと違うというところで、私は教育出版のほうが見やすくいいのかなと思いました。

○三角教育長 私もちっとイラストが気になったんですね。いろいろな先入観を先に、図として持たせちゃうんじゃないかなというところもあったんです。

他にご意見はいかがでしょう。

杉野委員さん、どうですか。

○杉野委員 先ほども述べましたが、子どもたちが主体的に学習に取り組んでいる、あるいは、友達と話し合いながら学びを深めるという授業のためには、教育出版も東書もそれぞれ工夫されていていいんですが、特に史料の選択だとか、それから、本文の中身から言うと、やはり教育出版のほうがバランスが取れていて扱いやすいのかなと思います。

○三角教育長 歴史に関しましては教出という声が多いのかなと思いますが、いかがでしょうか。

歴史につきましては、教育出版の教科書に決めてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 じゃあ、歴史につきましては、教育出版の教科書を採択することといたします。

次に、社会科公民について、協議いたします。

説明はありますか。

○鳥野指導室長 社会科公民6社について、ご説明いたします。

各教科書とも、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり、解決したりする力の育成を図るとともに、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載しています。

以上です。

○三角教育長 それでは、社会科公民につきましては、ご意見をいただきます。よろしくお願ひします。

公民についてもどの教科書も巻末資料などとても充実していますね。

○武蔵委員 本当にどれも充実していて、先生がどう使うか次第で、どの教科書も生きてはくるとは思うんですね。

○三角教育長 そうですね。教科書を使って、どういう授業を構想するかというところからの視点になると思うんですね。

○武蔵委員 地理、歴史が教育出版ということで、一つの社会科ということ考えたときに、同じ考えで作られている教科書を使うというのも、使いやすいのかなと思います。

前提では、さっき言ったようにどの教科書も素晴らしいなというのはありますよね。

○菊池委員 あまり差がないような感じなので、一緒のほうがいいかなと思います。

○杉野委員 特に教育出版は、小学校や、それから地理、歴史との関連を意識させるよう

な構成になっているのかなと思うんですね。

それから考えると、やはり地理、歴史で教育出版ということから考えると、やはり公民も教育出版がいいのかなと。

特に、今、岩見沢市で進めている、教えて考えさせる授業という視点から考えても、教育出版の教科書が使いやすいのかなと思います。

○三角教育長 6社の中では教出が、小学校社会科との関連だとか、他教科との関連、SDGsいうところについて、必ず教科書に載せているんですね。

これまでの地理、歴史を通してきた授業構想による教科書選択というところでいくと、公民も教出でというご意見なんですけれども。また、特徴的なところは、いろいろ、考える方策としてフィッシュボーンを使ったのは教出だけなんですよね。そんなところの取上げ方、考える、具体的な方策を考えるというところも、取上げ方がちょっと違うのかなとは思ったんですが、秋山委員さん、何かありますか。

○秋山委員 別に、どの教科書をとっても大きな差はないんですが、それでも、教育出版は全体的なバランスとか、全体的な流れの中では、教育出版さんでいいんじゃないかなと感じます。

○三角教育長 それでは、これまでご意見を伺ったところですが、社会科公民につきましては、教育出版の教科書ということに決めさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、公民につきましては、教育出版の教科書を採択することといたします。

次に、地図につきまして、ご協議をいただきます。

説明はありますか。

○寫野指導室長 それでは、社会科の地図2社について、ご説明いたします。

地図は、社会科やその他の教科書と一体的に使用することによって効果が一層高まるものでございます。生徒が地域を調べる上で必要な情報が載っているとともに、見て楽しくわかりやすい地図帳が必要です。

いずれの地図帳とも、生徒が興味・関心を持って、日本・世界の諸地域への理解を深められる工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されています。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、地図につきまして、ご意見いただきます。よろしく願いいたします。

地図は2社ですので、どちらかという優劣になると思うんですが、私としては、比べた段階では、帝国のほうが大判ですし、色使いも見やすいというところがあるかなと思います。どちらも資料が豊富なんですけど、レイアウトや資料の配置は、帝国が非常に読みやすいかなとは思って見ていました。

いかがでしょうか。

○武蔵委員 私も教育長と同じ意見で、東書さんは他の教科書と同じサイズでそろえているみたいですが、開いたときに、何かすごい圧迫感があるなど。大判で、やはり色も見やすいということで、帝国さんがいいんじゃないかと思います。

○杉野委員 2社ですので、東京書籍のほうは教科書、地理はもちろんなんですけど、歴史、公民とも連携を図って活用できるようになっていますし、SDGsを中心とした現代的な課題についても、たくさん題材を取り上げている部分があるのかなと思いますね。

それに比べて、帝国のほうは判が大きくなって、縦が40ミリぐらい大きくなっていますよね。大判になって、扱いにくい面もあるのかもしれませんが、大きくなったことでとても見やすくなったということ。それから、資料等についても、量、質ともに充実してきたんじゃないかなと思います。歴史、公民はもちろんなんですけど、他の部分でも、多目的に活用できるような作りになっていて、とても判が大きくなって、見やすくなったなと思います。

ですので、判の大きさはあるんですが、帝国書院がいいのかなと思います。

○三角教育長 今、帝国書院というご意見が多いかと思うんですが、菊池委員さん、どうですか。

○菊池委員 私、東書の地図帳の匂いがちょっとあまり。開いたときの匂いが駄目で。

○三角教育長 インクでしょうか。

○菊池委員 インクの匂いなのか。他は、大して気にならなかったんです、地図がとても気になって、私はそれでないなと思って見てしまいました。資料の中身としては、帝国さんのほうが見やすいかなとは思って見ていました。

○三角教育長 秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 私は、やはり開いたときの見やすさからいくと、帝国さんでいいんじゃないかなと。やはり見やすさ。縦長の見やすさがいいところというのものもあるんじゃないかなと思います。

○三角教育長 地図帳は見やすくないと、扱いにくいというところがありますね。

これまでのご意見を伺ったところ、帝国書院ということで決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、地図につきましては、帝国書院の教科書を採択することといたします。

次に、数学につきまして、ご協議をいただきます。

説明はありますか。

○寫野指導室長 それでは、数学7社について、ご説明いたします。

各教科書とも、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するために、生徒の学習意欲を高め、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されています。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、数学につきまして、ご意見をいただきます。よろしくお願いたします。

○秋山委員 各出版社さん、精査されて、優劣つけ難い部分があるんですが、やはり、岩見沢の教育の中で、教えて考えさせる授業を支えるという部分でいけば、東書さん、教育出版さん、あとは、基礎部分では、学校図書さんがいい部分があるのかなと見させてもらいました。

各出版社さんで特徴というのが、やはりあって。東京書籍さんでしたら、2ページで一つ、1時間になりますか。教育出版さんでは、3年生の教科書に1年生の関連した内容の振り返りがある。学校図書さんは基礎部分の比重が大きいとか、それぞれの各出版社さんが工夫されているのではないかなと見させてもらいました。

○三角教育長 他はご意見どうでしょうか。

○武蔵委員 まず、どれも本当に素晴らしい教科書だと思うんですが、1年生の導入の部分で、まず素数について、しっかりと考えさせているという部分では東京書籍さんと教育出版さん。まず、数というものの基本をしっかりと置いているというところの導入がいいかなと。

それから、その後の展開においては、やはり子どもたちが発展的に問題解決できるような部分では、私は、東京書籍さんのほうが進んでいるのかなと思いました。

教育出版さんはいつもそうなんだが、丁寧で、誰でも分かる教科書というように感じられるので、そういうふうに思いました。

○菊池委員 私は、教育出版さんがほどよく3年生の教科書に振り返りがあって、ちょっと確認できるというのがちょうど良かったのかなと思って見ていました。

○三角教育長 私は、数研、大日本図書がこれまでと随分変えてきたなという印象があるんですね。非常に丁寧に作ってきたなという印象があるんですけども。先ほど、秋山委員さんが言われたように、1時間の授業で教科書を取り扱うとなったときに、2ページ、2ページの刻みというところでいくと、東書と数研なんですね。というところでは、取り扱いやすいだろうなと思いますし、武蔵委員さんがおっしゃられるような、子どもに発展的に思考をさせて、多様な考え方を引き出すというところという、東京書籍、教育出版あたりになるのかなと私は思っていました。

杉野委員さん、どうですか。

○杉野委員 やはり内容的に見ると教育出版、それから東京書籍がいいのかなと思うんですね。特に教育出版はすごく丁寧な構成、すごく親切だなという印象を受けました。先生がいなくても、子どもだけでも授業が成り立つのかなという中身になっているような気がします。

ただ、岩見沢市で今、進めている、教えて考えさせる授業づくりということから考える

と、東京書籍のほうがいいのかなと思うんですね。教育長もお話ししていましたが、見開き2ページで1時間扱い、これはとても扱いやすいかなと思います。レイアウト等も非常に見やすいなど、教育出版より見やすいなと思いました。

誰もが学びやすいということで考えると、シンプルなほうの東京書籍がいいかなと思います。

○三角教育長 今、皆さんからご意見を伺いましたが、7社の中で、教育出版、東書が一番多く出てきたのかなと思いますし、その中でも東書というご意見のほうが多いかと思いました。その辺いかがでしょうか。

○武蔵委員 数研もいいなと思ったんですが、分冊というか研究ノート、分けてあるのがどうなんだろうなという部分があって、外しました。

○三角教育長 数研は結構いいんだが、ちょっと扱い方、授業では使いにくいかなというのがあったんですね。

東書さんはどの教科もそうなんですが、現役の先生方が随分編修に参加されているんですね。そのようなところが、実際の授業を想定しながらの編修になっているのかなとは思って見ていたんですが。

東書というご意見が多かったように思うんですが。

○菊池委員 東書のほうが見やすいかなと思います。

○三角教育長 数学につきましては、東京書籍の教科書で決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、数学については、東京書籍の教科書を採択することといたします。

次に、理科につきまして、ご協議をいただきます。

説明ありますか。

○畠野指導室長 理科5社について、説明いたします。

各教科書とも、生徒が自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求しようとする力や態度を養うための工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されています。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、理科につきまして、ご意見をいただきます。よろしくお願いたします。

杉野委員さん、何かありますか。

○杉野委員 5社の中でいくと、やはり教育出版、それから東京書籍の教科書が扱いやすいのかなと思います。

教育出版については、非常に字が大きくて、レイアウト、構成等も非常に分かりやすいし、学習の流れも明確に示されているかなと思います。

東京書籍も、A4のスリム判というんですか、ちょっと縦長の判なんですが、あまりな

い判なのかなと思うんですが、慣れたら大丈夫かなと思うんですが、判が若干大きくなったにもかかわらず用紙の軽量化が図られていますし、見開き1時間扱いも取り扱いしやすい教科書にもなっていると思います。

ただ、この2社を比べると、教育出版は中身が充実していて、巻末資料等も内容がいいものが入っているなと思いますが、ページ数は少し多くて重いなという感じを受けました。

そのような点から考えると、内容的にはさほど変わらないことから考えると、東京書籍がいいかなという気がします。

○三角教育長 ぱっと見た段階で、スリム判というのが中身はどうなのかなというところがありましたが、見やすいですね。よく配列してあるというか。

○菊池委員 ちょっと最初の時点で、うっと思ったが、見てみるとなかなか見やすく、良かったと思います。

○武蔵委員 理科の場合は、どの教科書もよくできていますが、第1分野、第2分野、あるいはもっと細かく生物、地学、天文、物理、化学などで、それぞれの教科書で、これはいいなというのがばらばらにあるんですね。ただ、そんな中でトータルして、どれを使うかということになってしまうので、すごくやりづらいんですが。

大日本と啓林館は見やすいんですが、それだけという感じがして。学校図書さんも最初の説明が非常に長くて、本文に入るまでに飽きる教科書だなと思っています。

理科の科目の中で、続きから入る分野と、最初から原理、定理を教えるから入る部分と、その学科によって違うと思うんですが、きっちりと分けけて取り上げているのが東京書籍さんと感じました。

教育出版さんもシンプルで分かりやすく見やすいなという感じがします。

東書さんは、先ほどありましたように変形の縦長なので、慣れる前にちょっと違和感あったんですが、慣れてくるととても見やすいと感じました。

○三角教育長 秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 内容的には、各社それぞれ、写真の掲載など、甲乙つけ難い部分があったんですが、最初は縦長ということで、本当に懸案していたんですが、開いてみると、すごくゆったりした感じで見やすいというのがあって、大きい教科書は少し敬遠されがちなんですが、でも、バランスが縦長の割にはそんなに重くないと私は思います。東書の教科書がいいのかなと。慣れたら縦長大のスペース配分がされているのではないかと感じました。

○三角教育長 私自身も、この5社で言うと、教出、東書というのが抜き出ているなと思ったんですね。見やすさもありますし、1時間の授業としてのボリュームもちょうどいいなという感じも受けたんですが、あとは皆さんのおっしゃるようなところなんですが。教出、東書ということでちょっと押さえさせていただいて、今のところ、東書のほうがということでご意見が多いかなと思うんですが、いかがでしょうか。

東書というほうがいいでしょうか。

○武蔵委員 化学のほうで見ていくと、興味を持って、次に進みたいと思われるような

教え方をできるのが東書さんかなと思います。

見てきれいなのは、やはり教育出版さんかなという感じはしますけれども。ただ、岩見沢で進める教育の考え方からいくと、東書のほうが使いやすいんじゃないかと思います。

○三角教育長 東書のほう、「つながる科学」というのが入っているんですよ。次に発展的に取り扱えるように、扱っているんですよ。

杉野委員さん、いかがですか。

○杉野委員 そうですね、やはり教育出版も捨てるのは難しいんですが、東京書籍のほうが扱いやすいのかなと思います。

○三角教育長 これまでのご意見を伺ったところで、東京書籍ということで理科の教科書に決めさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、理科につきましては、東京書籍の教科書を採択することといたします。

次に、音楽につきまして、ご協議いただきます。

説明ありますか。

○寫野指導室長 それでは、音楽2社について、ご説明いたします。

いずれの教科書も、表現をするための技能を身につけること、表現を創意工夫すること、活動の楽しさを体験することを通して、感性を豊かにし、豊かな情操を培うこと等の工夫がなされています。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されています。

以上です。

○三角教育長 それでは、音楽につきましては、音楽一般、それから器楽を併せてご意見をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 2社ということですので、地図と同様、優劣というか、どちらが取り扱いやすいかということで選定できるかなと思うんですけども。

○武蔵委員 どちらの教科書も音楽という教科ということに関して言えば、全部適切に使える教科書だと思うんですが、今回、ざっくり言うと、教育芸術社というのは、芸術としての音楽という視点をずっと持っているので、子どもたちの才能なり興味なりというのを伸ばそう伸ばそうと読み取れる教科書かなと思っています。

小さいときからピアノを習っているような子たちは、どちらでもそんなに影響ないと思うが、中学に入って、ギターに触ってみたいとか、そういうふうになったときには、教科書の中からもつながっていけるのかなという気がしました。

教育出版さんは、しっかりしているが、教科としての音楽をしっかり教えるという教科書かなと感じました。

○三角教育長 2社しかないなので、どちらかということ私も同じような感じですね。音楽を

教えるとするどどちらが使いやすいか、自分では教芸かなと。やはり芸術として音楽を学ばせたいというところ、あるいは趣向として、ワークシートを使ったり、あるいは作曲に向けて授業を進めていくであるとか、それから紹介曲がすごく多い教科書ということで、教芸のほうが非常に子どもたちにとっては興味・関心、あるいは発展的な取り組みを生かすことができるかなと私自身は思っていたんですけども。

菊池委員さん、どうですか。

○菊池委員 ジャンルのいろいろなものがあるのが教育芸術社なのかなと思いました。歌、合唱曲ばかりでは面白くなかったりするんで、聞いたことがあるのがあるのは、やはり教育芸術社かなと。私は教育芸術社のほうが良いかなと思います。

○三角教育長 実際、作曲家とか演奏家の方々が編修に多く関わっているんですね。

秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 やはり、子どもたちが興味を持って学べるというのが良いのかなと。新しい教科書が入ったので、子どもたちの興味の入口としてという意味では良いのかなと思っています。

○三角教育長 教芸というご意見多い中で、最後に言いづらいかと思うんですが、杉野委員さん、いかがですか。

○杉野委員 内容的には、そんな大きな差はないのかなと思いますね。私、少し気になったのは用紙の色というんですか。下地の色というんですか、教育出版のほうは黄色っぽい下地の色の用紙が使われているのに対して、教育芸術社のほうは白ということで、人によって見方が違うのかなと思うんですが、白のほうが見やすいかなと思うんですね。

あと、色使いも教育芸術社のほうが目に優しいというか、教育出版のほうはカラーがきついかと思いますし、ページの縁取り、枠取りというのは教育出版のほうがたくさん工夫されているんですが、少し見づらいかと私は感じました。

そんなことから考えると、レイアウトもよく考えられているし、子どもたちも集中できるのは教育芸術社のほうがいいのかなと思います。

○三角教育長 それでは、音楽一般、それから器楽ともに、教育芸術社の教科書ということで決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、教育芸術社の教科書を採択することといたします。

次に、美術について協議いたします。

説明はありますか。

○寫野指導室長 それでは、美術3社について、ご説明をいたします。

各教科書とも、表現や鑑賞の幅広い活動を通して、造型的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を高める工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○三角教育長 それでは、美術につきまして、ご意見をいただきます。よろしくお願いたします。

3社ということですが、菊池委員さん、いかがですか。

○菊池委員 中を見ていると、生徒の作品とかが多くて、写真が鮮やかできれいだったり、いろいろな工夫をされているのは光村さんかなと思って読ませていただきました。

○三角教育長 光村ですね。

秋山委員さん、何かありますか。

○秋山委員 本当にどの教科書もきれいに精査されて、ただ、見やすさでいけば、光村さんのほうが。ただ、芸術の中で、絵などいろいろなものがあるので、それがいいというのが言い切れない部分があって。あとは、分冊になっているとか、そういう意味では、どうなのかなという部分も確かにあるんですが、どこの会社も精査されているんじゃないかという気がいたしました。

○三角教育長 どの会社も作品の扱いがとても上手ですね。豊富に作品を取り入れているところもあったり、生徒の作品をどんどん載せているところもあったり、芸術として押さえて、いろいろな有名な作品、伝統作品を載せていたりというところで、あと紙質も工夫していますね。

○武蔵委員 教科書を見ていると、美術の教科書って、これを見て何を感じればいいのかという、昔のは、絵の描き方の指導だったりとか、彫刻の仕方だったり、そういうものももちろん入っているんですけども。やはり見てインパクトがあって、子どもたちを刺激する部分ということ考えると、折り畳みの見開きというページは各社つくっており良いなと思いますが、その中で、大きくしてインパクトがあるというのが光村さんかなと。それから、版画だとか、特に紙質を変えて使っていたりという工夫もありまして、光村さんがいいんじゃないかなと思いました。

あと、疑問だったのが、見開きで出ている「ゲルニカ」が、日文さんと光村さんで色が違うんだが、どちらが正しいんだろうとちょっと疑問に思っていて、微妙に違っているんでね。

○三角教育長 光村というご意見多いんですが、杉野委員さん、どうですか。

○杉野委員 3社ですので、まず、日文なんですけど、他の会社と違うのが3分冊になっているところですかね。1冊にすると軽くて扱いやすいかなと思うんですが、3分冊、2～3年の上下で分かれているということで扱いにくくないかなと思うんですね。

光村さんはいろいろな情報が入っていて、ちょっと詰め込み過ぎかなと思いました。

開隆堂は、光村図書と同じように非常に見やすくて、余白、空間があって見やすいなという印象を受けました。

しかしながら、作品の写真が非常に鮮やかできれいだったり、あるいは生徒の作品がたくさん掲載されているとか。あとQRコンテンツが非常に充実している、準備もなされて

いるということを見ると、光村図書がいいのかなと思います。

○三角教育長 音楽もそうだったんですが、光村さんの編修は、専門家やアーティストの方が多いですよね。そんなところも影響しているのかなと思うんですけども。

これまでのご意見を伺ったところで、光村図書ということで決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、美術につきましては、光村図書の教科書を採択することといたします。

次、保健体育につきまして、ご協議をいただきます。

説明ありますか。

○寫野指導室長 それでは、保健体育4社について、ご説明いたします。

各教科書とも、心と体を一体と捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、明るく豊かな生活を営む態度を育成するための工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されております。

以上です。

○三角教育長 それでは、保健体育につきまして、ご意見をいただきます。よろしく願います。4社になります。

菊池委員さん、いかがですか。

○菊池委員 私は自分のやっている競技が載っていたので、大日本図書でキンボールが載っていたので、あっと思って見ていたんですけど。ちょっといまいちかなと思いながら、ニュースポーツも取り上げてくれているなと思って見てて。

内容的に言うと、見やすいのは東書が見やすかったのかな。内容的には、学研さんのほうが、メールのこととかが入っていたのが、一番困るところが書いてあったのが学研さんかなと思っています。

○三角教育長 私も同じように思っています。大日本図書はいろいろなものを取り上げられていてすごくいいかなと、資料の掲載も分かりやすかったんですが、子どもたちにといいところ、授業でと考えると学研なのかなと思いました。東京書籍、確かに色彩がきれいだし、レイアウトも分かりやすいんですけども。

杉野委員さん、いかがですか。

○杉野委員 そうですね、総合的に見ると、学研と東書の教科書の扱いですね。1時間の基本的な授業の流れが明確になっているところがいいなと思って見ていました。

そんな中で、子どもたちが主体的に取り組んだり、あるいは友達と協力しながら学びを深めたりという授業に結びつくのは何なのかなと考えたら、やはり学研がいいのかなと思いますね。

あと資料、それから写真等、丁寧にわかりやすく編修されているのは学研なのかなと思います。とても見やすいかなということで、学研がいいかなと思います。

○三角教育長 学研というご意見をいただきましたが、武蔵委員さん、いかがですか。

○武藏委員 どう使うかだと思うので、現状でも問題なく使われている会社さんですのでいいかなと思います。

○三角教育長 秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 読みやすく書かれていると思います。写真の量、丁寧さ、図表など、いろいろなバランスの中では学研さんがいいのかなと思います。

○三角教育長 現状使われている教科書であるということで、武藏委員さんからご意見がありました。学研というご意見が多いかと思いますが、学研で決めさせていただいてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、保健体育につきましては、学研の教科書を採択することといたします。

次に、技術・家庭につきましては、ご協議をいただきます。

説明はありますか。

○嶋野指導室長 それでは、技術・家庭について、それぞれ3社の教科書について、調査研究をいたしました。

各教科書とも、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な技能や態度を育成するための工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されています。

以上です。

○三角教育長 それでは、技術・家庭につきましては、まとめてご意見いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。3社ということですが、

実技につながるというところでいうと、いろいろな図表だとか、写真だとかが大きなウエートを占めてくるのではないかなと思うんですが、菊池委員さん、いかがですか。

○菊池委員 私は家庭科を中心に見たんですが、絵や写真が分かりやすかったのが教育図書で、レシピとかも多くて、マスクの作り方など、いろいろいいなと思ったんですが、洗濯表示のところ、旧取扱いがあったのが東京書籍さんだけで、今、まだその取扱い表示が古いのもある中で、それも見比べながらというのがちょっとあったらいいかなと思っていました。

総合的に見ると、東京書籍さんがいいかなという感じでした。写真と絵が分かりやすいのが教育図書だったんですが、東京書籍さんのほうがいいかなという感じでした。

○三角教育長 私は、写真で比べると、教育図書の写真が小さいという印象があったんですね。武藏委員さん、いかがですか。

○武藏委員 やはり、実技と連動する教科書なんで、そういう部分で理解しやすい、見やすいというところが、東京書籍さんが見やすいのかな、理解しやすいのかなと。

○三角教育長 秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 私も、やはり実技なので、いろいろな資料が多い少ないなど会社によっては

あるんですが、文字の大きさとかが、実技の取扱いなど分かりやすいという意味では東京書籍さんのほうが良いのかなという気がします。大きな差が割とない。部分的にはここがいいとか、そういうものは、各教科書であるんだと思うんですが。

○三角教育長 扱いの内容はどこも同じなんですがね。

杉野委員さん、いかがですか。

○杉野委員 どの会社もいいなと思って見ていたんですが、まず、教育図書は、特に、実習、実技のページを見ると、レイアウトや色使いなどとてもよくて、本当に見やすいなと思いましたが、写真が若干小さいかなと思いました。ただ、視線が縦移動になるという部分がありますね。それに比べて、開隆堂と東京書籍は、資料等が、視線が横移動になるように作られたと思うんですね。

それで考えると、東京書籍が写真だとかイラストを豊富に載せて、分かりやすく解説しているな。あと、実習のときの右利き、左利きに対応した扱いを取り入れているという部分も良いなと思って見ておりました。

そんなことで、実習、実技ページだけ見ると、非常に見開き構成になっていて、横レイアウトというんですか、非常に写真もきれいで見やすいということで、東京書籍がいいかなと思いました。

○三角教育長 これまでのご意見で言いますと、東京書籍ということが多いかと思うんですが、技術・家庭につきまして、東京書籍ということで決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、東京書籍の教科書を採択することといたします。

次に、英語、外国語につきまして、ご協議をいたします。

説明はありますか。

○寫野指導室長 それでは、英語6社について、ご説明をいたします。

各教科書とも、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されているとおりです。

以上です。

○三角教育長 それでは、外国語につきまして、ご意見をいただきます。よろしく願いいたします。

6社ということで、前回も非常に迷ったところですが。

○杉野委員 6社ということなんですが、どの会社も小学校からの接続ということを意識したつくりになっているのかなと思うんですね。その中でも、特に教育出版と東京書籍は、小学校英語と、それから中学校英語のスムーズな接続と充実に向けて、それを重視した活動、さらには時間を確保してという点で優れているのかなと思っていました。

以上です。

○三角教育長 教育出版、東京書籍というご意見が出てきましたが、いかがでしょうか。

秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 あまり得意じゃないんで、何とも言えないんですが、どちらかというところ東京書籍は、文法が中心で、あとは小学校からの引継ぎを大切に扱っていると。教育出版さんは、英語を使用させようとする意図が見られる編修になっている。どちらがいいのかという意味では、やはり、自分が使っていくというのが大切なのかなと。これから、どうしても勉強だけでは社会についていけないのかなという部分で、この二つが優劣つけ難いのかなと最初に思いました。

○三角教育長 武蔵委員さん、いかがですか。

○武蔵委員 小委員会のほうからいろいろなメモも上がってきていますが、やはり東書、教出が使いやすいのではないかと思います。

やはり今、文法中心の英語というのは、あまり実用的でないというか、それはそれで大事なんですけど、もっと発展したほうへ進めるような教科書がいいのかなと感じています。

○三角教育長 菊池委員さん、いかがですか。

○菊池委員 私、全部、QRコードを読み取って、全部聞いてというのをやったんですけど。文章が多かったのが教育出版かなと思っていて、聞き取り問題があるところもあったんですけど、それよりも文章がいっぱいあって、いっぱい聞いたほうが、英語はいいのかなと思っているので、教育出版のほうがいいかなと思います。

○三角教育長 市内においては、英語を使える子どもの育成ということで、ALTも手厚く配置していますし、教科書のほうでも英語が使えるような、そういう教科書を選択していただけるといいのかなと思っているんですが、そういう点で言うと、自分としては、教出が一番英語を話させよう、使わせようという編修になっているのかなと見ていたんですが。

これまで、東書、教出というご意見が多かったのかなと思います。その2社で絞ってご意見を、さらに何かありましたら。これまでのところ、どちらかというところ東書、教出の中でも、教出のほうがご意見多いかなと思ったんですが、いかがでしょうか。

○杉野委員 先ほど、教育出版、それから東京書籍が内容的にいいなと話したんですが、先ほど教育長がお話しされたように、岩見沢市は、英語を話せる子どもの育成に重点を置いているということを考えると、やはり生きて使える英語ということの定着、向上を目指していて、コミュニケーション活動を重視した教育出版の教科書が適切かなと思います。

○三角教育長 武蔵委員さん、いかがですか。

○武蔵委員 学校視察に行ったときに、英語の授業をあまり見れていなくて、見たときには、教科書を使わないでカードでやっていると、実際どういう教科書がいいのかなと。やはり表現をしていくというか、グループで活動するといった部分では、教育出版の教科書が使いやすいのかなと感じております。

○三角教育長 教出というご意見を伺っているんですが、いかがでしょうか。

秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 やはり、どの教科書もそうなんです、やはり会話ができる、話せる英語と
いますか、そういう意味では、教育出版さんのほうがいいのか。どこを捉えてとい
う部分は、確かにあるんですが、そう感じて見させてもらいました。

昨年度、小学校の英語を採択したこと際にも、やはり話せる、ある程度文章を話してい
けるような、会話できるような子どもたち育てるという意味では、各社そのようにつくら
れているんですが、そういう意味では、教育出版さんのほうが良いのかなと思います。

○三角教育長 教育出版というご意見が多いかと思いますが、教育出版ということで決め
てよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、教育出版の教科書を採択することといたします。

それでは、次に、道徳につきまして、ご協議をいただきます。

説明はありますか。

○鳥野指導室長 それでは、道徳7社について、ご説明いたします。

各教科書とも、「特別な教科 道徳」の目標の達成に向けて、今日的な課題に対応すると
ともに、多様な考え方を導き出したり、多様な指導方法をとったりすることのできるよう
な工夫がなされております。

それぞれの教科書の特徴的な内容につきましては、答申書に記載されております。

以上です。

○三角教育長 それでは、道徳につきまして、ご意見をいただきます。よろしくお願いま
す。

○杉野委員 現在、使用されている教科書なんです、使用されてまだ2年間ですか。そ
んなこともあり、また、岩見沢市では、市全体で「特別な教科 道徳」のよりよい授業の
在り方ということで、熱心に研究が進められているのかなと思うんですね。そんな実践の
積み重ねがされている現在、教科書採用の検証も含めて、もうしばらく継続性を大事にし
て、続けて採用してはどうかと考えます。そんなことで考えると、東書がいいかなと思
います。

○三角教育長 他いかがでしょうか。

○武蔵委員 本当に教科書自体はどれも素晴らしい教材を用意していて、1日に1項目ず
つ読んでいたら、とても良い人になれるかなんですけども。今、杉野委員が言われたよ
うに、道徳教育の研究ということで、非常に、各学校でも掘り下げている最中ですから、
そういう部分では、現状の教材を生かして、引き続き、そちらを進めていただくというの
がいいのかなということで、この時点であえて教科書を変える必要性は感じないのかなと
思います。

○三角教育長 秋山委員さん、いかがですか。

○秋山委員 お二方が言われたように、道徳教育の発展段階という部分では、もう一度東
書さんの教科書を使わせていただいて、内容的にはいろいろな教材、題材を取り上げても

らっている部分もあり、そういう意味では、東書さんが良いのではと思います。

○三角教育長 私自身も、継続性もあるんですが、東京書籍の取り扱っている題材が非常に中身が広範囲にわたっているんですね。NHKの番組を取り上げてみたり、他の教科書にはないものを随分取り扱っているなど私は見ていたんですが、菊池委員さん、どうですか。

○菊池委員 どれも楽しく読ませていただいたり、いろいろなことを思うんだらうなどなることを考えながら読んでいたんですけど。継続という点では、やはり東書のほうがいいのか、今、まだ発展段階だと思うので、なのかなと思います。

○三角教育長 教科書自体も、心情円だとか、いろいろな取上げ方をして、子どもたちに考えさせよう、考えさせようというところや多様な考えを引き出そうというところの教科書づくりが根底にあるのかなと、どの教科書もそうなんですが、そういったところで、東京書籍というのは、ちょっと今後も扱いやすい教科書になるのかなと思っていました。

東京書籍というご意見が多かったかと思うんですが、道徳については東京書籍というところで決めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、東京書籍の教科書を採択することといたします。

次に、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について、ご意見をいただきます。

説明ありますか。

○畠野指導室長 学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択につきましては、採択基準に示されているように、学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに、文部科学省検定済教科書または文部科学省著作教科書、及びその下学年用、他の障害用の文部科学省著作教科書及びその下学年用、一般図書から採択できることとなっておりますので、このたびは、それらについて、調査研究を進めてまいりました。

以上でございます。

○三角教育長 それでは、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書について、ご意見をいただきます。よろしく願いいたします。

○武蔵委員 この件につきましては、採択参考資料に示された図書は、全て障害を持つ児童生徒に適切と考えますから、このとおりで決定していただいて結構かなと思います。

○三角教育長 今、武蔵委員さんからありましたが、このことにつきまして、他の委員さんも同様のご意見ということでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書につきましては、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書の下学年用あるいは他の障害用の下学年用、採択参考資料に示された一般図書を採択することといたします。

それでは、長時間にわたり、ご協議いただきましたことにお礼申し上げます。

それでは、採択の確認をいたします。

○ 嶋野指導室長 それでは、種目ごとに採択をいただきました令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、次のように確認をさせていただきます。

国語、光村図書。書写、光村図書。社会、地理・歴史・公民ともに教育出版。地図、帝国書院。数学、東京書籍。理科、東京書籍。音楽一般、器楽ともに教育芸術社。美術、光村図書。保健体育、学研。技術・家庭ともに東京書籍。英語、教育出版。道徳、東京書籍。

また、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書につきましては、いずれも適当。

以上でございます。

○ 三角教育長 それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○ 三角教育長 それでは、議案第44号につきましては、以上のとおり決定いたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

○ 三角教育長 ないですか。

特になければ、事務局から何かありませんか。

(「ありません」という声あり)

○ 三角教育長 以上をもちまして、第7回教育委員会臨時会を終了させていただきます。

ご苦勞さまでした。

午前11時45分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員